

# 目 次

**「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、  
該当ページまで移動します。**

<a href="#">出席委員</a> . . . . .	2
<a href="#">討論及び採決</a> . . . . .	4
<a href="#">特別委員会報告書の作成について</a> . . . . .	12

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。  
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場  
合があります。

平成27年9月決算審査特別委員会（10月7日水曜日分）

平成27年 利府町議会決算審査特別委員会会議録（第5号）

---

平成27年10月7日（水曜日）

---

出席議員（1名）

議長 櫻井正人君

---

出席委員（17名）

委員長 吉岡伸二郎君

副委員長 後藤哲君

委員 鈴木晴子君

西澤文久君

後藤哲君

小渕洋一郎君

安田知己君

木村範雄君

土村秀俊君

高久時男君

鈴木忠美君

吉田裕哉君

永野涉君

及川智善君

遠藤紀子君

渡辺幹雄君

郷右近隆夫君

羽川喜富君

---

欠席委員（なし）

---

説明のため出席した者

町 長

鈴木勝雄君

副町長

伊藤三男君

総務課長

堀越秀一君

政策課長

折笠浩幸君

財務課長

小山田春彦君

税務課長

高橋徳光君

収納対策室長

石川洋志君

町民課長

庄司幾子君

平成27年9月決算審査特別委員会（10月7日水曜日分）

生活安全課長	村田政文	君
保健福祉課長	菅井百合子	君
子ども支援課長	櫻井やえ子	君
都市整備課長	櫻井昭彦	君
産業振興課長 兼農業委員会事務局長	伊藤智	君
上下水道課長	阿部義弘	君
震災復興推進室長	大友義一	君
生涯学習課長	高橋三喜夫	君
会計管理者 兼会計室長	大友政一	君
教 育 長	本明陽一	君
教 育 次 長	松尾隆治	君
教育総務課長	小幡純一	君
代表監査委員	宮城正義	君
監査委員事務局長兼 選挙管理委員会事務局長	鈴木正敏	君

議会事務局職員出席者

事 務 局 長	阿部善男	君
主 任 主 査	櫻井涉	君
主 事	竹内春菜	君
主 事	佐藤真智	君

平成27年9月決算審査特別委員会（10月7日水曜日分）

午前9時27分 開 議

○委員長（吉岡伸二郎君） おはようございます。

これより決算審査特別委員会を再開します。

ただいまの出席委員は17名です。

暑い方は、上着を脱ぐことを許可します。

これより議事に入ります。

本特別委員会に付託された平成26年度利府町各種会計決算について、討論、採決を行います。

初めに、認定第1号 平成26年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。討論ありませんか。

最初に反対討論。6番 木村委員。

○木村範雄委員 おはようございます。

認定第1号 平成26年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定についての反対の討論を行います。

平成26年度一般会計決算は、歳入総額132億5,167万9,170円、歳出総額124億995万6,109円、前年度に比べて、歳入で5億4,900万円、歳出で6億5,000万円の減額でした。当初予算と比べれば、歳入で7億4,800万円、歳出で15億9,000万円の増額です。このうち、復興関係費で、13節委託料、15節工事費、17節公有財産購入、22節補償補填及び賠償金の総額は14億7,000万円、翌年度繰越額は9億2,000万円弱、当初予算が31億円ということを考えれば、速やかに復興対策を完成させることが急務の課題であるのに、事業費から見ても進捗率が遅いということは言えると思います。施工業者が決まらないとか、進まない要件はあると思いますが、職員の努力は最大限に認めるものでありますが地域の目線で、住民の目線で見るときに、速やかに進行しているとは言えないということを指摘しておきます。

利府町は、施政方針で述べた3つの施策目標を主要施策と位置づけ取り組むとともに、総合計画に掲げる「ひと ところ まち しあわせ共創」のまちづくりの実現に向けた事業を着実に推進しますと述べています。そのためにも、国や県への要望や提案を行い、地方自治体の復興計画に寄り添った財政支援を行わせることが必要です。

それでは、平成26年度決算を施政方針に基づき検討が必要なもの、おくられているもの等、主な点について述べさせていただきます。

1点目は、生活基盤の再建と都市構造の再構築です。

## 平成27年9月決算審査特別委員会（10月7日水曜日分）

平成26年度は、災害公営木ゆのき住宅への夏ごろの入居、須加・浜田地区の浸水対策、排水対策での居住環境の整備を行うと述べていました。前段でも述べましたが、復興関係事業が業者選定や資材調達も含めておくれぎみなことを指摘しておきます。また、平成26年度予算で指摘した朝夕の混雑対策としても仙台松島線、塩釜吉岡線の機能向上対策が取り組まれていないことも指摘します。

2点目は、産業経済活動の再構築と発展です。

特区制度の活用で企業誘致と雇用創生に努める、新たに浜田地区での道の駅、海の駅の検討、舘山公園の整備で四季をとおして憩える場所づくりを述べていました。主要な設備の成果としては、舘山公園高木伐採業務は報告されていますが、ほかは成果としては報告されていません。まだ構想段階ということもあり、成果として報告されていないということなのかもしれませんが、施政方針で掲げた項目については、現段階での報告は求めておきたいと思います。

3点目は、安全・安心なまちづくりの再構築です。

避難所機能強化のために全ての小学校への太陽光発電装置と蓄電池設備の整備、子育て支援では保育所の待機児童ゼロ、学校徴収金支援事業、小中学校の入学支援事業が述べていました。利府町の子育て支援策や小中学校への太陽光発電装置の設置と蓄電池設備の整備も順調に進んでいることは評価したいと思います。しかし、子ども医療費の中学生までの無料化は他自治体でも進んでおり、子育て世帯を進んで推進する利府町としては当初予算を超える取り組み、支援枠の拡大を行う必要があります。また、保育所の待機児童ゼロに向けての取り組みは定員の見直しだけでは対応できるものではなく、77名の待機児童が発生していることを考えれば、根本的な対応をとることが求められています。

最後に、平成26年度一般会計決算の反対討論で、利府町の最大の責務は住民の安全・安心、福祉の増進を最大限に図り、住んでよかった、住みたい利府町にするために努力することを求めてきました。そのためには震災被害からの脱却への助成、子供を産み、育て、健全で健康的な生活ができるように町独自の奨学資金の創設、町民が安心して介護が受けられるよう保険料の負担、介護サービスの給付などの支援策の強化、民間バスに一刻も早い100円バスの導入、葉山地区から東塩釜、東北本線への町民バスの導入、危険な交差点への信号機の設置などを要望してきました。震災被害者への助成や危険な交差点へのマーキングなど、対応してきた分もありますが、実現できていない分もあることを述べて討論とします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、賛成討論。3番 後藤委員。

## 平成27年9月決算審査特別委員会（10月7日水曜日分）

○後藤 哲委員 それでは、認定第1号 平成26年度利府町一般会計歳入歳出決算に対し、賛成の立場から討論をいたします。

歳入決算額につきましては、東日本大震災復興交付金基金からの繰入金が大幅に減少したことにより、前年度と比較して5億4,896万円減の132億5,168万円となりました。

一方、歳出決算額も、歳入同様に東日本大震災復興交付金基金への積立金や復興事業に係る繰出金の減により、前年度と比較して6億5,023万円の減の124億996万円となり、歳入歳出差引額が8億4,172万円で、翌年度へ繰り越すべき財源6億152万円を除き、2億4,020万円が実質収支額となり、そのうち1億2,100万円を財政調整基金に積み立てました。

昨年度に引き続き、高い水準での決算額となっておりますが、これは東日本大震災に伴う復興事業に要した費用が含まれているからであり、先月の11日で震災の発生から4年半経過しましたが、被害の大きさを改めて痛感するとともに、一日も早い復興を願うものであります。

次に、基金残高につきましても、昨年度に引き続き東日本大震災の影響が大きいものとなっております。復興交付金基金などの積み立てによりまして10億70万円増の74億3,098万円となっております。次年度以降のさらなる復興事業の加速化に向け、大いに期待するところであります。

なお、財政調整基金につきましては6,652万円の取り崩しによる繰り入れを行っておりますが、これは税収増に伴う普通交付税の減によりまして財源不足を補うため実施したものであり、昨今の地方財政を取り巻く厳しい財政状況の中ではいたし方がないものと考えるものであります。約17億3,000万円の残高を確保し、適正な財政運営ができたものと評価するものであります。

平成26年度における行政運営は、通常の行政運営に加え、震災の復興・復旧業務が本格化する中、町長を初め職員が一丸となって住民サービスの向上と的確な対応に当たられたことは、大いに評価できます。

次に、平成26年度の施政方針に示された3つの重点政策について検証してまいります。

初めに、生活基盤の再建と都市構造の再構築であります。

震災直後から進めてきた公共施設の災害復旧事業については、漁港施設の完了により全ての施設の復旧工事が完了したことは、町民生活に密着した事業最優先に取り組んだ結果であると評価するものであります。

さらに、生活を営む上で最も重要な住居を確保するための災害公営住宅整備事業が完成したことは、みなし仮設住宅で避難生活を送っていた被災者の方々に大きな安らぎを与えたものと

考えております。

次に、浜田・須賀地区においては、地盤沈下に伴う排水対策や避難路整備を初めとする各種事業へも本格的に着手し、地域の住民の皆さんの生活基盤の再建を最優先に取り組む姿勢は大いに評価できます。中でも、農山漁村地域整備交付金事業として、水産庁の採択を受けた浜田地区の防潮堤、須賀地区の水門施設の整備事業に着手したことは、地域住民が安全で安心して暮らすことができる環境整備として復興へ向けた取り組みを評価するとともに、一日も早く震災前の日常を取り戻せるよう引き続きの努力を望むものであります。そのほかにも、県道仙台松島線の慢性的な交通渋滞を解消に向けた町道の整備も進められており、生活基盤の再建と都市構造の再構築に努めていることも評価できます。

2点目は、産業経済活動の再構築と発展であります。

震災や経済情勢の悪化による厳しい雇用環境に対応した雇用対策として、平成26年度においても引き続き国の緊急雇用創出事業交付金を活用し、道路パトロール事業を初めとした雇用創出事業を実施したことや、農業生産者やまちづくり団体との協働により三陸自動車道春日パーキングエリアを活用した地場産品販売事業により、産業経済活動の再構築に寄与したものと考えます。そのほかにも、農業用施設や漁港の適正な維持管理により農・漁業者への支援を実施するとともに、中小企業資金融資事業を継続して実施し、商工業の振興にも努めております。

3点目は、安全・安心なまちづくりの再構築であります。

東日本大震災の教訓から、より安全で安心できる環境整備が不可欠であります。避難所機能の強化策として災害時において大規模な避難所となる小中学校を初めとする公共施設に、災害時でも優先的に利用できる災害時用特設公衆電話の整備や、小中学校に太陽光発電装置を整備したことは、安全・安心なまちづくりの再構築につながる有効な手段であると評価します。

少子高齢化社会に対応した住みよいまちづくりを実現するため、これまでも子育て支援を最重要課題と位置づけ、第3子以降の保育料の無料化や子ども医療費助成など、さまざまな施策を実施していることは、安心して子育てできる環境整備につながり、大いに評価できます。

最後に、引き続き震災からの復興事業を最優先で実施するとともに、総合計画の基本理念に上げる「ひと ところ まち しあわせ共創のステージ」の実現に向け、邁進するよう強く要望をし、賛成の討論といたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

## 平成27年9月決算審査特別委員会（10月7日水曜日分）

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより起立により採決を行います。

認定第1号 平成26年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について、原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 起立多数です。よって、本件は原案のとおり認定するものと決定しました。

次に、認定第2号 平成26年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。最初に反対討論。5番 安田委員。

○安田知己委員 認定第2号 平成26年度利府町国民健康保険特別会計決算に対し討論を行います。

今回の国保会計決算は、歳入合計31億4,070万円、歳出総額は29億2,333万円でした。

この国保会計が行っている医療保険事業は、国民皆保険制度を大もとで支える保険医療制度として、町民の健康保持と福祉増進に寄与する重要な事業であることは認めるものです。国保会計については、これまでも予算決算の討論で毎回述べておりますが、町の国保財政が厳しい最大の要因は、国が地方自治体の国保会計に対して予算を削減してきたこととあります。町として、国保事業への国の補助率を以前の状態に戻すよう県などを通じて他の自治体とも協同しながら要望していく必要があると思います。

次に、利府町の国保状況についてですが、この間、数度にわたって国保税の引き下げがあり、現在県内の35市町村の国保税を比較すると利府町は下から4番目、5番目と言われており、町民の国保税の負担は以前と比較すれば軽減してきているかと思えます。しかし、実際に国保税を支払っている町民からは、依然として国保の負担が重いという声も少なくありません。その背景としましては、この国保事業は他の医療保険制度とは違い、保険加入者の所得が比較的少ない人が多いということが特徴です。こういった実態も踏まえ、町としては国保加入者が無理なく支払うことができるように算出方法の検討も必要かと思えます。

さらに、短期保険証の発行は、3カ月証が175世帯、6カ月証が50世帯に発行されています。そして、資格証明書の発行も10世帯という状況でした。これら短期証や資格証明書が発行されている加入者はさまざまな理由で利用が受けにくくなる可能性もあります。これらの発行につ



## 平成27年9月決算審査特別委員会（10月7日水曜日分）

いては、速やかに取りやめていくことを述べ、平成26年度利府町国民健康保険特別会計に対する反対討論といたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、賛成討論。14番 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 認定第2号 平成26年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定に対し、賛成する立場で討論をさせていただきます。

我が国は国民すべてが公的医療保険に加入する国民皆保険制度を維持しております。会社や官庁などの健康保険に加入していない人は、病気やけがをしたとき安心して医療が受けられるよう、この国民健康保険に入ることになります。しかし、この制度は、高齢者人口がふえるにつれ巨額な医療費が発生するため、多くの自治体では一般会計からの繰り入れなど国保の運営をしなければならない苦しい財政状況にあります。

そのような中で、平成26年度の利府町国民健康保険特別会計の決算は、歳入が31億4,070万円、歳出は29億3,233万円で、差引額が約2億800万円となり、1億1,000万円を基金に繰り入れることができました。歳入総額のうち町民からの国民健康保険税は、現年度分91.5%の6億2,169万円と前年度より1,563円ほどの減額となりました。滞納分は4%下がりました。

滞納額減少の反面、不納欠損額は前年度より850万円ふえ、2,200万円を超える額となりました。不能欠損をふやさないようさらなる徴収への努力をされることを望みます。

歳出では、依然として医療に関する給付費が26億2,300万円と約9割を占めており、安心して医療を受けられることと、医療費をいかに削減するかはこの制度を維持するための大きな課題です。そのためにも疾病の重症化、長期化を防がなければなりません。早期発見、治療の各種健診事業や健康教育、栄養改善、疾病予防、レクリエーションなどの保健事業に力を注ぐ必要があります。今後も税の公平性のため、きめ細かい滞納による納税義務の意識を高めることを望みますが、昨年同様厳しい財政運営の中で基金の繰り入れができたことを評価し、賛成といたします。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより起立により採決を行います。

認定第2号 平成26年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 起立多数です。よって、本件は原案のとおり認定するものと決定しました。

次に、認定第3号 平成26年度利府町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより採決を行います。

認定第3号 平成26年度利府町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本件は原案のとおり認定するものと決定しました。

次に、認定第4号 平成26年度利府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより採決を行います。

認定第4号 平成26年度利府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本件は原案のとおり認定するものと決定しました。

次に、認定第5号 平成26年度利府町下水道特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

平成27年9月決算審査特別委員会（10月7日水曜日分）

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより採決を行います。

認定第5号 平成26年度利府町下水道特別会計歳入歳出決算の認定について、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本件は原案のとおり認定するものと決定しました。

次に、認定第6号 平成26年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより採決を行います。

認定第6号 平成26年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出決算の認定について、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本件は原案のとおり認定するものと決定しました。

次に、認定第7号 平成26年度利府町水道事業会計決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより採決を行います。

認定第7号 平成26年度利府町水道事業会計決算の認定について、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本件は原案のとおり認定するものと決定しました。

平成27年9月決算審査特別委員会（10月7日水曜日分）

以上をもって、本委員会に付託された平成26年度利府町各種会計決算の審査は全部終了しました。

なお、**委員会報告書の作成**については、私に一任願います。

これで利府町議会決算審査特別委員会を閉会します。

どうも御苦労さまでした。

午前9時52分 閉 会

上記会議の経過は、事務局長阿部義男が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

平成27年10月7日

委 員 長